

ボランティアの 皆さんの声

息子や娘によく読み聞かせをしていて、昔から絵本が好きだったこともあり入会しました。子どもたちが楽しめるよう、クリスマスやお正月など季節のイベントに合わせて絵本を選んでいきます。子どもたちが喜んでくれるのが一番嬉しいです。

井出 真生さん

数年前に可児市に引越してきたので、知り合いを増やしたいと思い入会しました。読み聞かせをしてもらった経験も、した経験もあまりなかったので、子どもたちの前で読むのは緊張しますが、良い達成感も感じています。

藤田 明子さん

子どもたちがキラキラとした目で、集中して聞いてくれたり、私の名前を覚えてくれたりして嬉しいです。「あおむしの会」は、とてもアットホームな雰囲気です。

前田 沙和香さん

読み聞かせをしている途中でも、子どもたちは話かけてくれて、会話ができるのが嬉しいです。子どもたちの純粋さに癒されています。

私が学校で読み聞かせをすることを、息子が喜んでくれたのが嬉しかったです。

三宅 恵里奈さん

おとなしい性格の息子に、人前で堂々と読み聞かせする母親の姿を見せたいと思い入会しました。

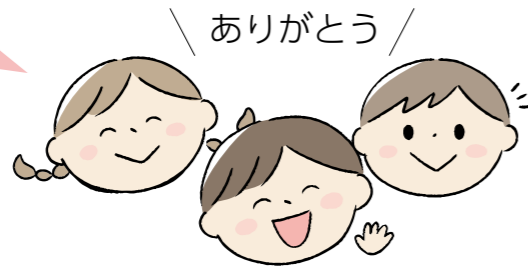
夏休みなど長期休暇の前には、楽しい本とあわせて、子どもたちが犯罪に巻き込まれないよう対処法を教えてくださいたい絵本を読むようにしています。

小池 晋子さん

今渡南小2年生のみなさんより

登場人物によって声を変えて読んでくれるので、面白かったです

いろいろな本を読んでくれるので嬉しいです



前に読んでくれたサンタクロースの本を借りてみたいです。読み聞かせを楽しみにしています!!



地域で支え愛

問 地域振興課 / 市社会福祉協議会 ☎@1555

市内では、子育てサロンや学習支援、認知症カフェ、生活支援サービスなど、約200のボランティア団体が市の「地域支え愛ポイント制度」に登録し活動しています。今回は地域で活動している2つのボランティア団体に話を伺いました。

地域で支え愛 × 子育て世帯の安心づくり

今渡南小学校で20年以上読み聞かせをしている、あおむしの会。

そこには子どもたちを優しく見守る、絵本が好きなお母さんたちがいました。



(上段左から)あおむしの会の藤田さん、井出さん、前田さん、小池さん、三宅さん (下段左から)青山さん、長尾さん

子どもたちに届けたい
お母さん“の読み聞かせ

この活動をいつまでも
あおむしの会の活動は「あおむしがやがてチョウになるように、読み聞かせを通じて豊かな心を育んだ子どもたちが、成長して幸せな世の中を作り、幸せに過ごしてくれたら」という思いのもと始まりました。この活動を継いでくれる方がいることが嬉しいです。これからも活動を通して、子どもたちの成長を見守っていけたらと思います。

小学校の各教室に電子黒板機能付きプロジェクターが設置されてからは、ビデオ会議のシステムを使って読み聞かせの様子を各教室に配信するなどしました。感染状況が落ち着いている時期は、学校の先生方と相談して、各クラスで読み聞かせをしています。



難しい言葉はできるだけ分かりやすい言葉に直しながら読み聞かせをしました。

コロナ禍で試行錯誤を繰り返して
コロナ禍で、活動を続けるか休止するかメンバーで何度も話し合いました。また、どうしても活動が続けられないか学校の先生とも相談して、最初は全校放送で読み聞かせをしました。苦労したことは、1年生から6年生までが楽しめる本を選ぶことです。1、2年生は放送だけでは話の内容が理解できないかと思い、担任の先生に放送に合わせて絵本をめぐってもらいました。1、2年生合わせて7クラス分、同じ絵本を準備するのも大変でした。また、

子どもたちがほっとできる時間を
あおむしの会は、今渡南小学校で月に1回程度、朝の会の前に10分間の読み聞かせをしています。メンバーは小学生のお母さんや元PTA母親委員など計37人です。働くお母さんも活動していて、読み聞かせが終わったらすぐに出勤するメンバーもたくさんいます。それぞれが子どもたちに届けたい思いを大切に読んで読む本を選び、読み方も工夫して読み聞かせをしています。コロナ禍以前は、昼休みにもパソコン室で読み聞かせをして、時には一緒に折り紙で遊ぶこともありました。子どもたちが年に一度「感謝の会」を開いてくれるので、それがとても嬉しく励みになっています。

「近所同士がつながる場」

ほっこりサロン「いろいろり」では、毎月第2、第4水曜日におしゃべりサロン、第3水曜日に健康体操などを行っています。私たちが住む日本ランド・坂戸台周辺からは、喫茶店に行くにも坂の上り下りがあり、高齢の方などが近所の人たちと気軽に集まれる場所がありません。こうした状況から、井戸端会議ができるような場所を作り、ご近所同士で気軽に掛け合えるような地域になればという思いでサロンを運営しています。



体調を崩したり、コロナ禍で外出を制限されて人との触れ合いが減ったりして、ネガティブな気持ちで家で過ごしている方々がいると思います。このような時だからこそ、サロンに遊びに来ていただき、一緒に楽しい時間を過ごせたらと思っています。

夏頃に、可見高校の生徒の皆さんに、ビデオで撮影したサロンの様子を見ていただく機会がありました。生徒さん

安心して利用してもらいたい

からは「利用者の方が楽しそう」などの感想と共に手作りのプレゼントまでいただき、とても嬉しく励みになりました。

コロナ禍で一番不安なのは利用者の皆さんのことです。「サロンで絶対に感染させてはいけない」「安心して利用していただきたい」という思いで、基本的な感染対策はもちろん、毎回必ず、事前に公民館中の床や机、椅子、手すりを除菌タオルで入念に拭いています。その他にも、ゴム手袋の着用の徹底、二酸化炭素濃度測定器の設置、飲み物は紙コップで提供するなど、できる限りの感染対策を実施しています。

コロナ対策以外にも、健康体操を行う時は地区センターなどで実際に講座を体験し、「利用者の皆さんにも楽しめそうか」を必ず確認します。また、活動中の事故などに備え、看護師に話を聞くなど、利用者の皆さんが安心して活動できるように努めています。

地域のつながり作りをみんなで

私たちがいざれ高齢になり出掛けるのが難しい状況になっても、近所で集まれる場所があればと思います。ご近所同士のつながりが続くよう、これからもサロンを運営していきます。

地域で支え  愛 × 高齢者の安気づくり

日本ランド公民館で高齢者の居場所づくりに取り組む、ほっこりサロン「いろいろり」。そこには長年暮らしてきた地域の未来のために、尽力している人たちの姿がありました。



(上写真左から)ほっこりサロン「いろいろり」の木村さん、中尾さん、角田さん、渡辺さん
(下写真左から)木村さん、水野さん、秋田さん

楽しいひとときが育む
地域のつながり

笑顔がたくさん
サロンには

ボランティアの皆さんの声

サロンは、私にとって大切な居場所の一つです。いつも利用者の皆さんに元気をもたらしているので、お返しをしたいという気持ちで活動しています。地域の方にサロンを利用してもらい、困った時には助けを求めてもらえるような関係を築けたらと思っています。

中尾 ひとみさん



少し具合が悪くなってしまった利用者の方が、サロンに来て元気になってくれるということもあり、それがとても嬉しいです。私まで元気になります。自分が暮らす地域のために何かできればと思い活動を続けています。

角田 育代さん

利用者の方より



サロンに来れば皆さんとお話できて楽しいです。同じ地域に暮らしているながら、サロンで初めて出会えた方もいます。このような場を地域に作ってもらえたことが嬉しく、欠かさず参加しています。

杉本 むつ子さん

支え愛の輪を広げよう

今回、話を伺った団体以外にも、市内には多くの個人・団体の皆さんが地域のために活動しています。そうした皆さんの支えがあるおかげで人がつながり、住みよい地域が守られています。市では「支え愛地域づくり事業」により、市民の皆さんの地域支え愛活動を応援しています。「子育て世帯の安心づくり」「高齢者の安気づくり」につながるさまざまなボランティア活動に対して、Kマネーと交換できる「地域支え愛ポイント」を交付しています。皆さんも支え愛活動に参加してみませんか。



支え愛地域づくり事業

地域支え愛ポイント制度 ボランティア講座 **無料** 市社会福祉協議会 ☎@1555

これからボランティア活動をしたい人向けの、地域支え愛ポイント制度の説明と個別相談会です。

日時 2月22日(火) 13:30~15:00 定員 20人
場所 福祉センター 申込締切 2月18日(金)
講師 市社会福祉協議会職員



ボランティア活動の一覧



地域振興課 脇阪夏美